

【公共施設白書の分析内容について】

- 公共施設白書は、公共施設の保有状況や利用状況、コスト情報等などについて取りまとめ、今後の公共施設のあり方を検討する際の基礎資料として活用するとともに、本市公共施設の現状を市民の皆様幅広く知っていただくための資料として、令和元年度から作成しています。
- 3年度分のデータが蓄積したことから、過年度分のデータとの対比を行い、また、施設分類ごとの状況等について深掘し、地域における資産保有の最適化検討に係る施設の最適配置の参考データとして活用することを目的とし、公共施設白書の分析編を作成します。
- 分析の内容は、公共建築物の施設総量については、過年度比較及び各施設の中分類別までをグラフ化し分析を行います。また、コスト状況についても、同様に過年度比較を行い、加えて各施設のコスト状況の分析を掲載します。さらに、公共建築物の築年数及び分類別平均築年数、年間利用者数をグラフ化し分析を行います

<御意見をいただきたい内容>

- 白書分析の結果については、現在検討を進めている地域最適化の取組において、地域における施設配置状況に加え、各施設の状況等を踏まえ施設の最適配置を検討するための参考資料として活用する予定ですが、上記について、市民の方に関心を持ってもらえるような見せ方、別の視点の分析手法がありましたら、御意見いただきたいと思っております。